

子供会のリサイクル活動

なまえ（

）

ひろしの住んでいる子供会では、1ヶ月に1回、リサイクル活動をしています。1けん1けん家を回って、新聞紙やダンボール、ビンなどを集めます。こうして集めたものは、売ってお金にかえ、公園の花のなえを買ったり、子供会の行事に必要な物をそろえたりします。また、さいがいんで困っている人に送ったりすることもあります。11月12月のリサイクル活動でえたお金は、さい末助け合いぼきにきふをすることになっています。じこや病気で困っている人にやく立ててもらうためです。

11月のリサイクル活動の日がやってきました。朝の空気が冷たくて、吐く息が白くなります。

「さあ、今日もがんばってたくさんあつめるぞ」とひろしは、はりきって家を出ました。少し起きるのが遅くなりましたが、約束の8時までには、公園に集まれそうです。ひろしがはりきっているのには、理由があります。実は・・・

一週間前に、子供会で勉強会がありました。地区の公民館に集まって、短い映画とお話があったのです。その映画には、病気で困っている人の様子や、海外の恵まれない子供たちの様子が写っていました。その子供たちは、やせ細っていて、おなかがぶくっとふくれています。だから、小さいときに死んでしまう人も多いそうです。ひろしは、同じ人間に生まれてきて、こんなに生活の差があるのにびっくりしてしまいました。「なにが、自分にできることはないものか・・・」その時の素直な感想です。それで、ひろしは、今日のリサイクル活動にはりきっているのです。

公民館に集合するとみんな集まっていた。1年から6年生までがいくつかのグループに分かれて、いろいろな家を回ります。3年生のひろしは、1、2年生のお世話をしながら、5、6年生の手伝いもするという、なかなかむずかしい役わりです。

さっそく、始まりました。それぞれの家から出てくる新聞紙は、たばになっていてとても重いのです。いっしょうびんも割らないように集めるので、気をつかいます。ピンは中に入っていたものによっては、変なおいがしたりして、はなをつままなければならないときもありました。でもはじめのうちは、みんなはげまし合いながら、楽しく活動できていました。

それぞれの家の人が
「よくがんばっているね。まだ3年生なのかい？りっぱだねえ・・・」
とほめてくれるのも、がんばる気持ちをおこさせるのでした。

ひっぱっていたリヤカーがいっぱいになってきて、一度公民館にもって帰ってから2度目の活動に出たころから、だんだん疲れてきました。まず、低学年の子供たちが遊び始めました。低学年に向かって、ひろしは、

「おい、もっとまじめにしるよ！困っている人のためだぞ！このお金でたくさんの子供たちが助かるんだからな」
注意はするものの、その時だけです。そのうちに自分も疲れてきてイヤになってきました。

「ああ、つかれたなあ。これだけやったんだから、もういいだろう」
確かにとってもたくさんのリサイクル品が集まりました。高学年の人が
「ひろし君たち、1、2、3年生は、もう止めてもいいよ。つかれたんだろ。よくがんばったよ。家に帰ってもいいよ」

やさしい高学年のお兄さん、お姉さんです。1、2年生がどんどん帰っていく姿を見て、ひろしは、「ほくも、帰ろうかなあ、どうしようかなあ。」とまよいました。でも先日見た映画や、はげましの言葉が浮かんできました。

「.....」

「よし！ぼくは、3年生だから、1、2年生のように、弱音を吐いてかえることはできないぞ」と心を決めました。そう決心したら、すごくやる気が出てきて、今までの疲れはどこかへ行ってしまいました。

それから2時間、一生懸命働いたかいがあって、本当にたくさんのリサイクル品が集まりました。集めた自分たちがびっくりしたほどです。

「これで、たくさんの子供たちの命が助かるんだろうな。なんだか気持ちがすっきりしたなあ。」
「みんなで力を合わせて、自分から進んで働くってとってもすばらしいことだなあ」ひろしは、心のそこからそう感じました。